戦旗

共産主義者同盟機関紙
第9号
一九六〇年三月十一日発行
発行所
東京都文京区元町一の一
世界労働運動研究所
編集 発行人 鍋木 潔
一部 十円

ゼネストめざし突き進め！

第十五次統一行動

第二回全国労働者代表政治決議（要旨）

万国の労働者団結せよ！
革命的前衛・共産主義者同盟を
すべての工場に組織せよ！

（一）安保闘争の決戦たる四月中旬の第十五次統一行動、ゼネストと十八人の国会ボイコットの闘争が総評で決定される。今日、この闘争の高揚の時期は、政治ストの実行、全国民的闘争へ発展する時期である。

（二）全国労働者組織代表者会議は、「安保闘争の新しい段階を迎えた十一・二七ゼネスト・ボイコットの闘争は、現在の階級情勢下における同盟の任務を明確に規起した。下の政治決議を採択した。

（三）現在の階級情勢において、安保闘争は、ゼネストを含む政治ストの実行を通じて、第二回全国労働者組織代表者会議の決定を実行し、第十五次統一行動を闘い抜き、第十一・二七ゼネスト・ボイコットの闘争を、安保改定阻止闘争の新しい段階を画する闘争として、全国民的闘争へ発展させる。

（四）この闘争を通じて、労働者階級の革命的思想を強化し、革命的前衛党の建設を決定的に推進する。

（五）この闘争の高揚は、必ず、帝国主義者間の矛盾を激化させ、アメリカ帝国主義の世界的没落を促進する。

（六）この闘争の進展を決定的に推進するものは、十一・二七、今日の労働運動の右傾化と共産主義者同盟の闘争の中から、同盟は労働者階級の闘いの中から、同盟は労働者階級の闘いの中から、ゼネストと十八人の国会ボイコットの闘争を現実に作り出すであろう。

（七）この闘争の中で、「新党」の問題が、真に「新党」の名に値いする党の建設の問題として、第二回全国労働者組織代表者会議の決定を前提として、第十五次統一行動を闘い抜き、全国民的闘争へ発展させるために、全力をあげて闘う。

（八）この闘争の中で、「新党」の問題が、真に「新党」の名に値する党の建設の問題として、第二回全国労働者組織代表者会議の決定を前提として、第十五次統一行動を闘い抜き、全国民的闘争へ発展させるために、全力をあげて闘う。

（九）四月闘争を中心とする当面の闘争は、同盟の建設と、統一戦線の問題の解決の問題の闘争である。

（十）この闘争の中で、日頃自治体に根を組織し、国会デモ、民社党の本部デモ、暴力団との闘いを闘い抜き、民社党の暴力団との闘いを闘い抜き、民社党の暴力団との闘いを闘い抜き、民社党の

十四次・実力行使・体制確立で十五次 ゼネストをかちとれ！

抜け穴だらけの国民会議の方針

安保国民会議は十八日に全国代表者会議を招集し、三・二四の方針を決定するが、先日の常幹決定された方針は、次のように、サボリ、規模を低めるなどの抜け穴がいくつもあるのだ。

★第十四次統一行動。

四月一日～七日の間。

①労働組合は、実力行使を行うばかりでなく、組合を最大限動員して、ビラはりなどにより、第十五次ゼネストの準備に進出する中心、【体制確立】の課題を、労働者を指導部に引きつけることに集中する。

②中央、国民会議は、第十四次行動を、第十五次行動の準備に進出する中心、【体制確立】の課題を、労働者を指導部に引きつけることに集中する。

③中央、国民会議は、【十四時間の職場大会を最低規制】。最大限動員（これで第十五次に突入するストレートで空文句に終む）による国会集団陳情（これは対決なしにやるものだ）。

【一つ】の国会集団デモを開いたとしても、第十五次ゼネストで、国会集団デモを開いたとしても、第十五次ゼネストの四・二六の国会集団デモ、第十次ゼネストの三・二一の国会集団デモ、この五次ゼネストは、第十五次ゼネストの準備にすぎぬ！ようにするだろうことも確かだ。目共が少なくだ！！

★第十五次統一行動。

④四月十五～十日の間、労働組合は総大阪の実力行使。【総評のスケジュールでは、民間単位統一団結論でこれを見のがすこと】。

【ないように】という方針が、第十四次行動では、「何もやらない」ように、ストレートに空文句に終ってしまうことは、これは対決なしにやるものだ。

第十五次ゼネストで、ゼネストで、国会集団デモを開いたとしても、それを最低規制、形式的、ポーズ、ごまかしもサボポ、ポーズ、ごまかしもサボポ、ポーズ、ごまかしもサボポ